

- 5 平成25年：第43回多治見まつり
- 6 平成28年：新火葬場「華立やすらぎの杜」
- 7 平成28年：虎渓用水広場オープニングイベント
- 8 平成26年：国際陶磁器フェスティバル美濃'14



- 1 平成22年：駅前通り
- 2 平成21年：新多治見駅陶壁除幕
- 3 平成23年：陶彩の径 開通式
- 4 平成24年：第67回国民体育大会炬火リレー

<2020

<2010

2020年
令和2

「望まないタバコの被害から市民を守る条例」を制定する。
長瀬テクノパークに日本ガイシ株式会社が進出する。
小泉交流センターが完成する。
精華交流センターが完成する。

2018年
平成30
令和元

市内全幼稚園・保育園、小・中学校の普通教室でエアコン整備が完了する。
土岐川左岸ポンプ場が完成する。

2017年
平成29

地域あいのりタワシの運行補助を開始する。

国際陶磁器フェスティバル美濃17が開催され、眞子内親王殿下がお成り。

東美濃ナンバー導入を断念。6市1町の地域連携を強化する。

精華小学校附属愛児幼稚園が完成する。

モザイクタイルミュージアムが開館する。

虎渓用水広場が完成する。

新火葬場（華立やすらぎの杜）が完成する（火葬炉6炉、多目的炉1炉、式場）。

市内中学校の全学年に30人程度学級を導入する。

2016年
平成28

星ヶ台保育園が開園する。

路線バス昼間運賃割引制度（200円バス）を開始する。

2015年
平成27

駅北庁舎の供用を開始する。

駅北立体駐車場が完成する（417台収容）。

2014年
平成26

東京デイズニールゾート・スペシャルパレードが、「第43回多治見まつり」に参加する。
日本創成会議による人口推計で多治見市が消滅可能性都市と発表される。
国際陶磁器フェスティバル美濃14が開催され、眞子内親王殿下がお成り。

2013年
平成25

根本交流センターが完成する。

池田小学校が完成する。

四万十市が最高気温41度を記録し、多治見市が平成19年に記録した40.9度が更新される。

山吹テクノパークにトヨタ自動車株式会社が進出する。

加藤孝造氏が名誉市民に推挙される。

多治見市消防団女性消防隊が発足する。

2012年
平成24

美濃焼ミュージアムが開館する。

新市民病院が開院する。

第67回国民体育大会（ぎふ清流国体）が開催され、空手と軟式野球の会場となる。

市民活動交流支援センターがまなびパークたじみへ移転する。

旭ヶ丘テクノパークにアマゾンジャパン合同会社が進出する。

鈴木藏氏が名誉市民に推挙される。

2011年
平成23

自転車歩行者専用道「陶彩の径」が開通する（陶都大橋南側～旧笠原駅跡地）。

「多治見橋夢広場」を旧中部電力跡地に整備する。

台風15号により甚大な被害を受ける（床上浸水183棟、床下浸水439棟）。

国際陶磁器フェスティバル美濃11が開催される。

第1回美濃焼祭を開催する。

2010年
平成22

加藤孝造氏が重要無形文化財（人間国宝）に認定される。

多治見市民病院が直営から指定管理者へ移行する。

JR多治見駅舎及び駅南駅前広場が完成する。

2009年
平成21

土岐川観察館が平和町に新築移転する。

新しい多治見駅と南北連絡通路の一部が完成し、供用を開始する。

To the Future

